



平成 28 年 6 月 28 日 (火) 日進市立香久山小学校にて
「くすりの正しい飲み方：くすりと安全に安心して付き合う」
「くすり教室：実験講座」を開催：名城大学と日進市による提案型連携事業第 1 弾（平成 28 年度提案型大学連携協働事業）、名城大学薬学部による科学実験出前授業

特定非営利活動法人医薬品適正使用推進機構（NPO J-DO）は国民に「くすり」を安全に安心して使うために、活動の一つとして小学生にも「くすり」のことを知ってもらう授業や体験実験を行っています。今回は、平成 28 年 3 月に日進市と連携協定を締結した名城大学の「大学の資源、学生の力を生かし、地域の自治体の貢献する事業」との共同企画として、「くすりのヒミツを解き明かそう！」と題し開催しました。当日は、小学生 6 年生 155 名がくすりについて学び、体験実験から視覚的に理解が深められ、とても楽しかったと大好評でした。

日進市立香久山小学校における「くすり教室」

日時：平成 28 年 6 月 28 日 (火)

第 1 グループ：08 時 50 分～10 時 20 分

第 2 グループ：10 時 55 分～12 時 25 分

場所：日進市立香久山小学校 ランチルーム

内容：

・「実験を始める前のお話」：Q&A 方式

どのようにくすりを飲んだら適切に効き、副作用を防ぐことができるか、Q&A 方式で小学生が答える児童参加型で、名城大学薬学部の学部生がスライドを使ってわかりやすく説明しました。小学生は元気よく挙手して活発に問い掛けに答えてくれました。

・「体験実験」

内容をより理解できるように、小学生は 21 班（1 班 7～9 名）に分かれ、薬学生の補助・解説を受けながら体験実験を行いました。本学部野田幸裕教授（NPO J-DO 副理事長）、間宮隆吉准教授（理事）は各グループを巡回し、進行調整や助言を行いました。

<実験項目>

1. 水がなくても飲める「くすり」があるのを知ってる？
2. 胃でとけずに腸でとける「くすり」があるのを知ってる？
3. 「くすり」を「お茶」で飲むとどうになってしまうの？
4. 「うがいぐすり」でうがいをした後に、すっぱい食品を食べるとどうになってしまうの？

制作：名城大学薬学部病態解析学 I

（近藤麻生、藤井菜々美、後藤 綾、

野田幸裕）・薬品作用学（間宮隆

吉）・衛生化学（松岡史華）

監修：NPO J-DO（鍋島俊隆）

